

2017年度 キーンズランド大学語学研修報告書

0. 語学研修について

目次

- 0. 語学研修について
- 1. UQ での様子
- 2. オーストラリアについて
- 3. ホームステイについて
- 4. 感想や次年度に参加するひとたちへのアドバイス

私たち 20 名は 2/17 ~ 3/25 にオーストラリアのクィーンズランド州ブリスベンに位置するクィーンズランド大学に研修に行きました。クィーンズランド大学 (UQ) には ICTE-UQ という英語専門の語学プログラムがあり、私たちは 20 名は ICTE-UQ に参加しました。

授業のクラスは初日のテストにより 7 段階に分けられていました。私たちのほとんどはレベル 3 ~ 6 のクラスでした。私たちが語学研修した時期は比較的日本人学生が多かったため、クラスの半数以上は日本人でしたが、先生は外国の方で、授業の内容は 100% 英語で行われました。レベルによって分かれているため、人それぞれに合った授業内容を受けることが出来、授業内容としては文法などから日常会話で使えるような応用的なものまでありました。朝 8:15 から二時間授業、30 分休憩、2 時間授業という構成でした。平日は午前中のみ授業があり、平日午後や土日はフリータイムでした。友だちやクラスメイトと遊んだり、ホストファミリーと出かけたりなど人それぞれオーストラリアを満喫しました。

また、ホームステイ先は大学側が研修前に提出した学生の要望 (子どもがいる家庭がいい、動物アレルギーのためペットを飼っていない家庭がいい、等) を加味しつつ決めるというシステムでした。

1. UQ での様子

UQ のキャンパスはとても広く、雄大な芝生やスポーツ施設、食堂やカフェなど様々な施設があって充実したキャンパスライフを送ることができました。放課後にはクラスの人たちと散歩したり食堂でご飯を食べたりして過ごしました。また、授業についてですが、15 人前後の少人数クラスで和気あいあいとした雰囲気勉強することができました。内容は Listening、Writing、Speaking におおまかに分かれています。どの担当先生もわかりやすく教えてくれました。授業初日は知らない人ばかりで緊張しましたが、先生が仲良く話せるようにいろいろと企画してくれたので翌日には積極的に会話することができました。



毎週金曜日は、スポーツアクティビティがあったので、UQ の学生とスポーツを通して触れ合う機会がありました。アクティビティには様々な国籍の人が集まり、英語を使って運動することはとても刺激的な体験でした。



UQ の Conversation club に入っすぐ行われた BBQ パーティーに参加しました。初めて会う人たちばかりだったけど、英語で気さくに会話できたのですぐ仲良くなりました。今でも連絡を取り合う友達もいるので、とてもいい経験になりました！

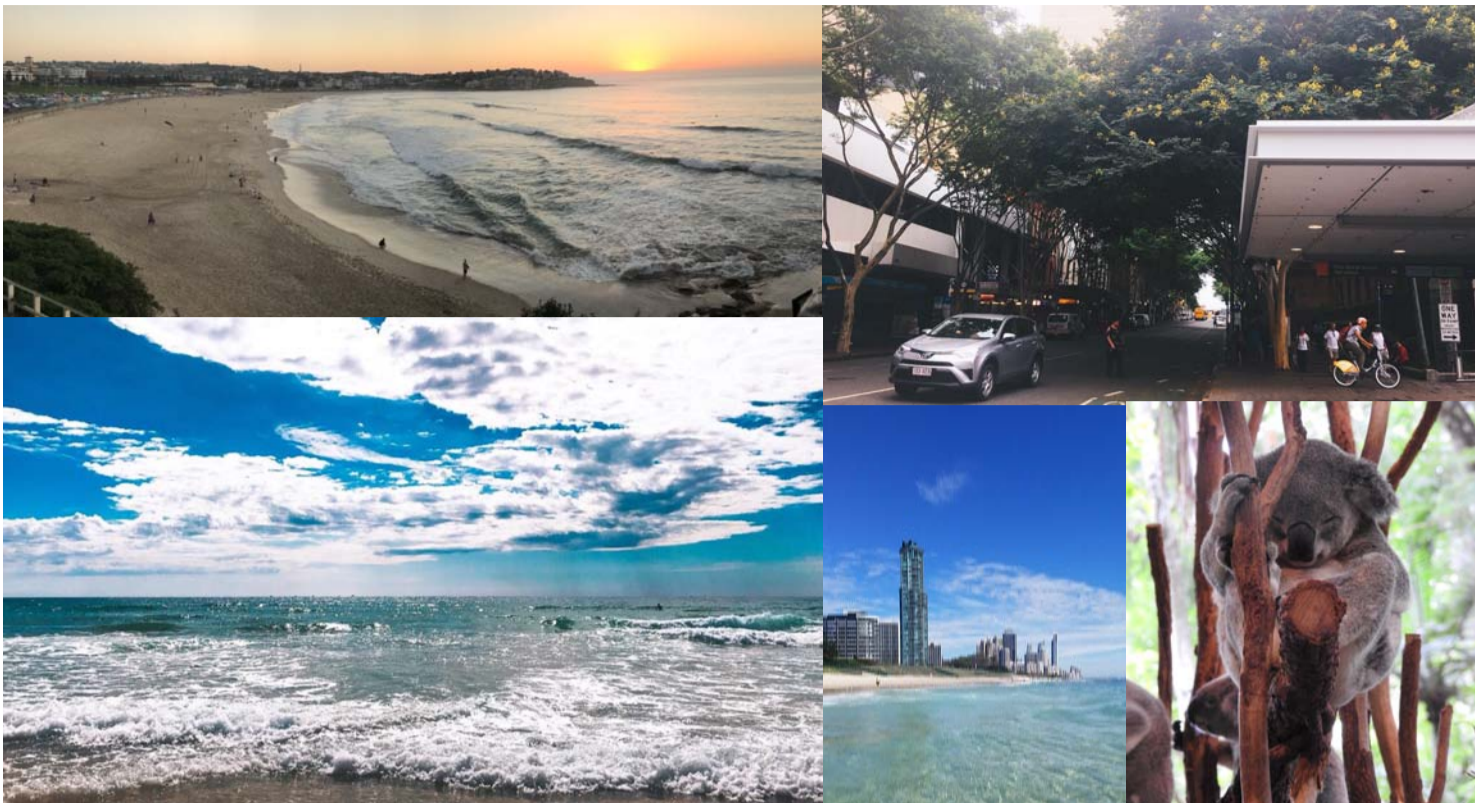


クラスの人たちと UQ 内の芝生でピクニックをして楽しみました！各国の伝統的な料理などを各々持参して、クラスみんなで共有しました。食事を通じてクラスの人たちと交友を深めることができたのが嬉しかったです。



放課後に UQ の学生とバスケットボールをしました。初めてあったにもかかわらず、英語で仲良く話すことができ、とても有意義な時間でした。放課後も英語を使う時間がたくさんあったので、非常にいい勉強になりました。

2. オーストラリアについて



私たちが研修した期間、日本では冬でしたがオーストラリアは夏の後半の時期でした。日差しはありましたが、長ズボンなども十分使える程度の気候でした。教室やお店ではクーラーが効いているため上着を現地で購入した人も多くいました。

物価についてですが、スーパーのお水が高く果物やパンなどは比較的安価でした。もちろんお店のものはスーパーよりは高額でしたが手は届く範囲でした。また、安価で衣服類や生活必需品、お菓子、文房具などを取りそろえているチェーン店としてあり、多くの学生が利用していました。日本の100均ショップもあり、緑茶なども手に入ります。



夏なのに、思っていたよりは暑くありませんでした！京都が蒸し暑いなら、オーストラリアはカラッとした暑さでした。その分紫外線も強かったように思えます…
雨の日がほとんどないと聞かされていましたが、通り雨程度は頻繁にありましたし、ひどいスコールも何度かありました。折りたたみ傘は必須です！

17時にほとんどのお店が閉まるのが驚きでした。街灯が日本と比べすごく少ないので、20時にもなれば真っ暗で星がよく見れました！
Japanese Sushi やラーメン屋さんが多くありました。バスで10分くらいのところに栄えているCityがあり、他にもデパートのようなものはあったので買い物には困りませんでした！

野生の生き物が結構ごつくて驚きました。学校内の芝生にウォータードラゴン（上写真）がいたり、Cityの道ばたに日本では見ないような大きな鳥がいたりしました。
イルカにえさをやったり、遊園地やプールアトラクション、シュノーケリング、スカイダイビング、サーフィンなどそれぞれ自分たちで計画し楽しむことができました。

日本と違って美術館や博物館、Cityのど真ん中にある人工ビーチ（上写真）などの娯楽施設がほとんど無料だったので十分に満喫することができました！また、中には土日に飛行機に乗ってシドニー（上写真はシドニーのオペラハウス）で観光した人も多くいました。
5週間では足りないほど、行きたいところが多くありました。

map



- UQ City —
 - Museum
 - Many shopping stores
 - Many cafes and restaurants
 - Artificial beach, BBQ space and Town market
- Brisbane —
 - House of host family
 - Department stores
- Gold Coast —
 - Many kinds of athletic pool
 - Beautiful beaches
- Sydney —
 - Opera house
 - Harbour Bridge

3. ホームステイについて

ホームステイ先は多種多様で、小さい子供がいたり、逆に大人しかいなかったり、ペットを飼っていたりとファミリーの構成は様々でした。他の留学生と一緒にホームステイしている人もいましたが、どのホームステイ先でも日本人は一人でした。大学に近い家もあれば、片道バス1時間の家もありましたが、多くのホストファミリーは初日にバスの使い方や家から学校への道のりを教えてくれたため、スムーズに学校に通うことが出来ました。ホームステイを受け入れている人たちは非ネイティブに慣れているのでゆっくりと話してくれ、こちらが話すときも理解しようとしてしっかり耳を傾けてくれていました。



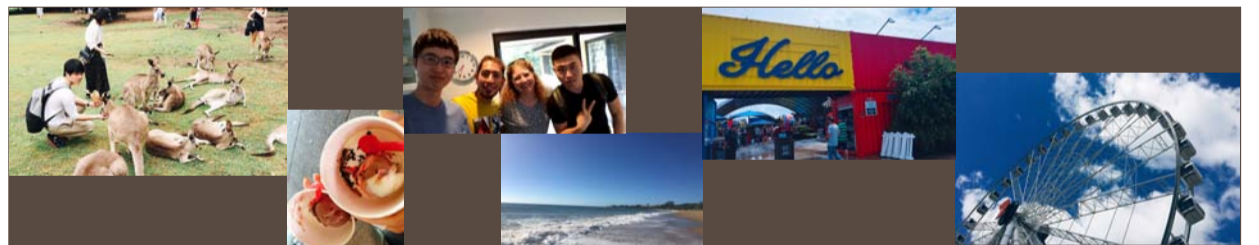
朝食はシリアルやトーストを自分で用意して食べる家庭がほとんどで、ホストファミリーと一緒に食べる家庭もあれば仕事の事情により一人で食べる家庭もありました。夕食はお肉を中心とした料理が多くタイ米を出す家庭もありました。中には料理を買ってきて家で食べる家もあり、好きなものを買っていいよとお金を渡される日もあったようです。ホームステイのプログラムに本来昼食を作る義務はありませんが、中には昼食用にお弁当を持たせてくれたり、前日の夕食の残りを分けてくれる家庭もありました。また、ステーキハウス（右上写真）などのレストランに連れて行ってくれたホストファミリーもいました。

各家庭でそれぞれルールがあり、「シャワーは1回につき3分まで」「飲食物を自室に持ち入ってはいけない」「洗濯物を室内に干してはいけない」「家のwifiを無駄遣いしない」等がある家庭もありました。特にオーストラリアは水が貴重なので水に関するルールは厳しい家庭が多かったようです。

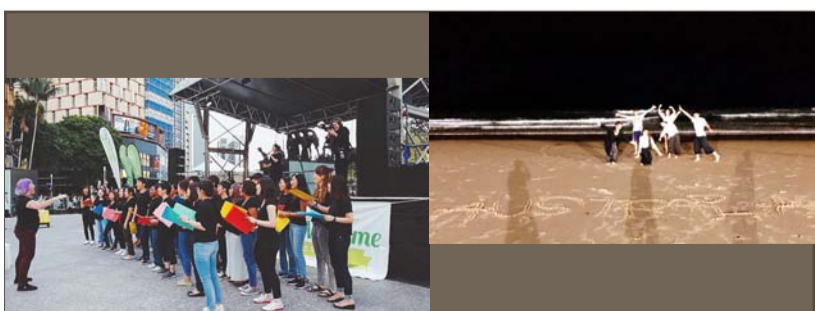
食事の時はその日の出来事を話したり観光地についてのアドバイスをもらったりなどネイティブの人と話す良い機会でもあり、ホストファミリーと仲良くなれる良い機会でした。また休日にはファミリーの知人のライブや誕生日会（上写真）、車で遠方に連れて行ってもらえたりした人たちもいました。

4. 感想や次年度に参加する人たちへのアドバイス

5週間の語学研修のための留学でしたが、長いようで短い研修期間でした。初めの1週間は、慣れない物事への対応や生活だけでも手一杯になり、もちろん意識も高く保っている分1日の密度が濃く、日本で暮らすよりも何倍も長く感じた5日間でした。一方、2週目以降のオーストラリア生活には余裕も出てくるので、楽しさが大きくなってきて一ヶ月を一気に駆け抜けてしまいます。この、余裕が出始めた期間を、楽しみながらもどのように過ごすかによって得られる成果が大きく変化すると感じました。何を実行して何をやるかはあなた次第。研修前に「やること・成し遂げたいことリスト」を作っておくことをお勧めします。



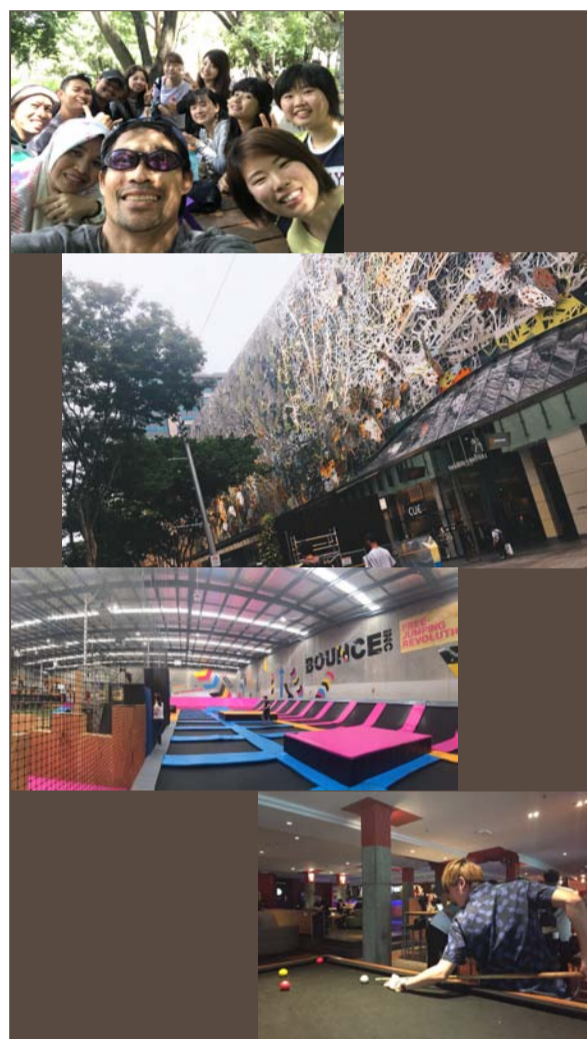
オーストラリアで格安SIMカードを購入することをオススメします。国内でポケットWiFiを借りたり、向こうのWiFiで済ますことも可能ですが、何かとお金がかかったり、不便だったりします。携帯の機種や購入した時期によって、SIMカードを挿入出来ない場合もあるので、オーストラリアに行く前には、必ず確認しておくようにしましょう。コンセントタップにも気をつけましょう。私のは、許容電圧の範囲をしっかりと確認していなかったことが原因で、初日にショートして、使えなくなってしまいました。海外の人と積極的に喋りましょう。オーストラリアに行く前にはしっかりと勉強してから行くことをお勧めします。レベル分けテストが初日にあるのですが、ほとんどの生徒が4か5のレベルに分けられます。しかし、レベル4の場合、クラスメイトのほとんどが日本人であるのに対して、レベル5では、半分以上が外国人です。決して、レベル4で英語力が向上しないわけではなく、本人の意識次第でどのレベルでも向上すると思いますが、自然と周りに多国籍の生徒がいる時は、自然と喋り、知らない間に友達になれるので、頑張っておくことをお勧めします。



5週間は非常に短かったです。英語力を向上しようとしなければ、間違いなく伸びないと思います。授業は、文法が多く会話の授業が少ないので、物足りないと思います。私は、Netflixを英語字幕で見たりして、聞く練習をしたり、フリータイムに海外の友達と積極的に喋ることで会話の練習をしていました。会話は、合っているかどうかよりも、勢いが大切です！バンバン喋っていきましょう！

ホームステイ先のファミリーともいい関係を築こうとある程度努力しましょう。もちろん、ファミリーから声もかけてくれるし、色々してくれると思いますが、自分が行動しなければ、何も起こりません。自分から喋りにいき、自分から感情を表現していきましょう。

短いですが、とにかく楽しい5週間です。迷っているなら、一度は話を聞きましょう！って損は無い事は、私が保証します。



私は今回の語学研修が初めての海外でした。そのため、家の中で土足の人と裸足の人が同時にいることへの違和感や、ジャポニカ米が食べられないことや、街中歩いていて日本語が全然聞こえてこない生活にはとても驚きましたが、すぐ慣れました。

私は、「英語力をあげる」というより「英語でのコミュニケーション能力を向上させたい」という目的を持ち、このオーストラリア語学研修に挑みました。そのため、ホームステイ先では自分の部屋にこもるのではなく「Good night」と言われるまでリビングにいるようにしました。そのおかげで、ホストファミリーの子どもたちとかけっこやプール、バスケットなどでたくさん遊んだり、宿題をみたりして、多くの時間を一緒に過ごすことが出来ました。

はっきり言って5週間は短く、足りなかったです。行きたかったけれど行くことが出来なかった観光地もあるし、もっと外国の友人を作りたいかったです。また英語力に関しては、Listening面は少し耳が慣れた実感はあったもののその他の英語面で伸びた実感はありませんでした。しかし、私のどこが足りていないか等の問題点や、英語で話すことの楽しさ、オーストラリアの人々の優しさ、外国で過ごすことで得られたものはとても多かったと感じています。実際、語学研修出発当時、540点だった私のTOEICのスコアは、帰国後100点以上上がりました。これは英語力が向上したというより、英語に向き合う意識が高くなったからです。もし語学研修に行きたいけれど勇気が出ない、自分の英語力では無理だ、と行く前から決めつけている人がいるならとりあえず行ってほしいと思います。そして研修先ではできるだけ外国の方はじめいろんな人と話す、友達を作る努力だけしてみてください。きっと、研修終わり日本に帰るとき、たくさんのもので得られているはずですよ。



○変圧器はなくてもアダプタが対応していたので大丈夫でしたが、変換プラグはもっていないと向こうのコンセントに刺さらないです。

○クレジットカードかデビットカードは作って持っていくべきです。その際、暗証番号は絶対に忘れないでくださいね。

○クラスの外国人や買い物に行った時の店員、ホストファミリー等に英語で自分から話しかけないと、日本人だけで日本語ばかりで話し、英語を使う機会がなくなります。

○行きの荷物は少なくしておかないと、帰りはお土産をいっぱい買って重量オーバーになってしまい、超過料金を取られることとなります。(その時は受付の型が日本人だったので簡単でしたが、英語で話さなければならない場合は手続きが面倒かもしれません。)

○プレゼンをするかもしれないのでpcはもっていったほうが良いかもしれません。

○ホームステイ先にもよりますが、洗濯の頻度が日本とは違うところが多いので服は十分に持って行ってほうが良いです。

○日本から持って行った参考書は全く使わなかった上、また帰りの荷造りのときに邪魔になっておいてきてしまったので持っていかないほうが良いです。